

議案に対する 討論の要旨

3月定例会では、平成26年度平塚市一般会計予算に対し、各会派が討論を行いました。

湘南フォーラムは「平成26年度平塚市一般会計予算」に対し、意見、要望を付し賛成をする。

落合市長にとって、平成26年度は1期4年の仕上げの年になる。施政方針では、「平塚市が大きく発展するための好機を逸することなく、さまざまな課題に積極的に取り組んでいく」と述べており、期待している。

ツインシティの整備では、4億8千万円余の予算が計上されている。事業の着実な推進を図るには、地権者の合意形成が第一であるが、まだまだ不十分どころも見受けられるので、市内の体制を整え、理解が得られるよう、丁寧に説明する必要がある。

市民センターの耐震診断では、見附台周辺地区整備事業の検討が進められている中で今後の展開が心配だが、まずは耐震診断をしっかりやっていただきたい。

平塚市が「子育て世代」の方々に選ばれ、住んでいただくためには、待機児童対策が極めて重要であり、総合的な施策の展開が必要である。早速、市長を本部長とした「待機児童対策本

議案第29号

平成26年度平塚市一般会計予算

賛成討論

湘南フォーラム

一部」を設置し、打開策が一日も早く加速することを望むところである。

教育では、学校における昼食の環境整備も大切だが、学力の向上を図るとともに、英語教育の充実を積極的に進めていただきたい。

平塚市の定住人口や交流人口を確保するには、商・工・農・水産・観光の各産業の活性化と、それぞれの連携が重要である。地域経済を牽引するような強い産業を望むところである。

以上、市民サービスの向上に取り組んでいただくとともに、進化していく平塚を誰もが肌で感じられるよう、積極的な事業展開が図られることを期待する。

賛成討論

公明ひらつか

平成26年度は、落合市長1期最後の本格予算となる。就任当初は東日本大震災の直後でもあり、防災・減災に対する思いと取り組みにスピード感があつたが、3年が経過して、前進はしているものの、進化を実感するまでには至っていない。個々の事業の中には評価すべきものもあるが、市役所新庁舎の建設は当初の予定より遅れ、労務単価の見直しや資材の高騰で予定価格の見直しがあつた不安が残る。ツインシティ整備

準備は、さがみ縦貫道路の全線開通や国道134号の4車線化の完了など、交通網の基盤整備の進展に伴い大きく地域経済の活性化につながる重要な事業である。納税者である市民に対する説明責任を果たし、情報公開をしっかりと行い、積極的な事業の推進を要望する。

各予算については、市内事業者の受発注促進に結びつけるための制度やプレミアム商品券の助成など、市内商工業の連携強化や、子育て支援として民間保育施設の整備を支援する予算を

賛成討論

平塚クラブ

清風クラブとして、意見・要望を付して、賛成の立場から討論を行う。

各事業においては、議会や市民に対し素早い情報公開に努め、市民の理解をいただく、ともに歩んでいく市政運営が何よりも大事である。限られた予算の中で費用対効果を考え、事業の選択と集中により行財政運営を進めていくことを要望する。特にツインシティ整

増額して子育て環境の整備を図る取り組みは評価するが、各産業のさらなる連携強化や情報発信力の向上、また待機児童ゼロへ向けた積極的な取り組み、いじめ対策や体罰問題などの施策の充実を求める。農林水産業では、農道用排水路の整備など、地域の声に即して事業に取り組むことを求める。厳しい予算の中、事業を進めるうえで行政の役割をしっかりと把握し、かつ責任を持ち、事業を実施するよう要望し、賛成討論とする。

市長マニフェストの成果について、市民は平塚を各産業のバランスのとれた都市に再生させることを期待

市民が納得する行政運営を望みたい。本市の財政状況は悪化傾向にある。自立した行財政運営を取り戻すために、現状に歯止めをかける知恵と創意工夫を結集する必要があつた。新庁舎の完成とともに、職員全員が「顧客満足」を意識し、笑顔で市民サービスを提供できる職場風土が実感できることを要望し、賛成討論とする。

しており、平塚駅周辺を中心市街地と新たな大型商業施設との連携を含め、積極的な取り組みを要望する。

子育て支援に関しては、民間保育所の施設整備は評価するが、待機児童ゼロを目指し一層の努力を求める。また不妊治療への助成が会派はこの課題のさらなる支援を進め、安心して子供を産み育てられるよう取り組みを表明する。

ツインシティ整備推進事業では、先端技術産業の誘致を積極的に行うとともに、環境と共生するまちづくりの実現を強く求める。

加えて開発に関しては、地権者との信頼関係を損なうことのないよう丁寧な説明・協議を行い、透明性の高い情報提供をされたい。

この予算の執行が「心」のこもった事業展開になるよう、意見と要望を交え、賛成討論とする。



反対討論

日本共産党 平塚市議会議員団

県の補助金が一部、交付金化された。使い勝手がよいとされるが、補助金の削減につながる危険がある。削減しないよう県に要望することを求める。

成年後見利用支援センターの設立、特別養護老人ホームの施設整備、特定不妊治療への新補助制度など

は評価する。また、生活保護のケースワーカーの増員が相談者への十分な対応につながることを求める。本案に反対する理由は4億8千万円余のツインシティ整備推進事業である。土地区画整理事業は圧倒的多数の住民の理解と賛同が必要だが、現状は不十分である。暮らしやすいまちづくりを改めて考える必要があることから平成26年度一般会計予算案に反対する。

常任委員会の審査概要

平成26年度一般会計予算をはじめ、3月定例会に上程された議案は所管の常任委員会に付託されました。2日間にわたる委員会での審査の結果、各議案はすべて原案どおり可決すべきものと決定しました。

◆総務経済常任委員会

平塚市庁舎・平塚税務署新築工事の工事請負変更契約の締結など14議案と「神奈川県に対し公契約条例を制定するよう意見書の提出を求める請願」を審査しました。

◆環境厚生常任委員会

「平塚市附属機関設置条例の一部を改正する条例」や「平成26年度平塚市病院事業会計予算」など6議案を審査しました。

◆教育民生常任委員会

「平塚市社会教育委員に関する条例の一部を改正する条例」など2議案を審査しました。

◆都市建設常任委員会

「平塚市風致地区条例」や「平塚市営住宅条例の一部を改正する条例」など8議案を審査しました。

※本会議や委員会での質疑・答弁は、5月下旬に発行する会議録をご覧ください。